

紀伊国名所図会

和田浦 飯はまちとりの図

この浦ハしも比井ノ岬北面に長く突出、其の湾をなし、巨巖碧波の底に潜まりたるを以て冬のころより、春を(に)かけて、千万のはまち、群をなし、かの岩にひそまんとして、こゝに聚あつまり来り、海瀬のために色を変ず、あまの子ら、十月より三月までその候とし、是を漁る事大凡、一日に五六千を常とし、多き時ハ、十万余にも至るとぞ、さて是を府下及大坂堺兵庫其外、所々に運送すといふ

和田浦沿岸部の特徴を示し、多くのハマチが集まることがわかります。また本文中にある「あまの子」とは海士であり、漁師を指す名称でしょう。後半には大坂近郊に出荷される旨が記されています。

